

◆一条条間路の調査 —第293-7次

1. はじめに

個人住宅改築にともなう調査。発掘面積は約12m²。法華寺の北を画する一条条間路の左京城西端に近い位置であり、その北側溝の検出を試みた。

2. 調査の成果

調査の結果、幅2.3m以上の東西溝1条（SD1140）、それに流れ込む南北溝1条を検出した。

一条条間路北側溝とされる東西溝は、本調査区より東方の第82-8次、第164-14次、第95-2次で検出されている。

本調査で検出された東西溝もこれら既往の成果から想定される位置にほぼあたることから、一条条間路北側溝と考えられる。なお、南の溝肩は調査区外にあり、正確な位置を確定できなかった。

東西溝には、炭化物を多量に含む層がみられ、土器、燃えさし等が多数出土した。

(加藤真二)

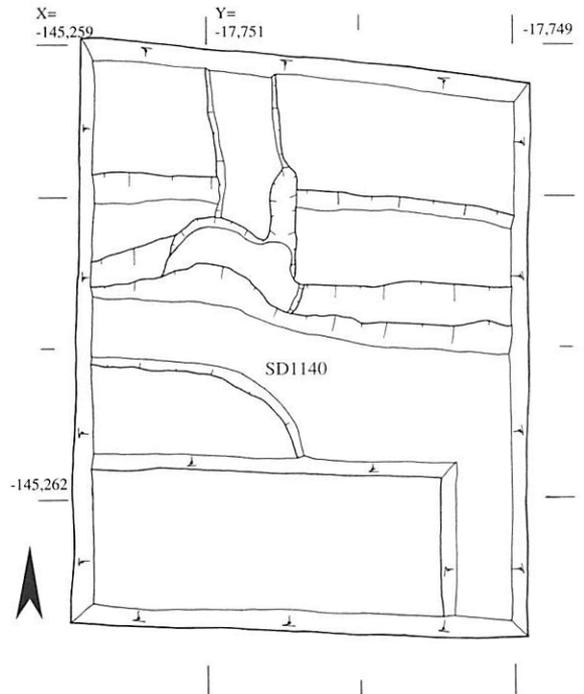


図76 第293-7次調査 遺構平面図

平 城 専 こらむ 欄 ④

◆仏蘭西ワールドカップ珍道中

1998年スポーツ界最大のイベントといえば、なんといっても4年に1度のワールドカップ。われら日本代表チームは、そこそこ活躍するかも？という淡い期待をみごと裏切り、終わってみれば三戦全敗の勝点ゼロ。なんともさびしい結末でありました。それにしても、あのジョホール・パルの決戦でイランを撃破しW杯初出場を決めた翌日、驚喜・乱舞のうえに「本戦には必ずや応援に駆けつけるぜ」と豪語した奈文研のサッカー部員たちは、本戦が近づ

くや露骨に尻ごみし、結局、はるか仏蘭西南部の古城トゥールーズにまでかけつけたのは私とNとMの3人だけ。ところがこの3人、出国直前に勃発した「幽霊チケット騒動」にまきこまれ、とうとうスタジアムには入れずじまい。3人なかよく、河川敷の特設スーパーヴィジョンで、日本対アルゼンチン戦を観賞したのであります。

でも、楽しかった。日本がW杯に出場したら本戦を見にいこうと心に決めていた私は、歳四十を過ぎて、ようやくその願いを叶えられたのです（おかげで発掘現場をさぼり、同僚の結婚式もすっばかしてしまっただけ）。じつ

は私とNの二人は、イングランド対チュニジア戦のチケットをちゃんと確保していて、日本戦の直後にマルセイユへ移動し、かのヴェロドロームの極上の席に座っていたのです。マルセイユの町はスキンヘッドのフーリガンとチュニジア民族衣装の垢場と化し、そのなかに身をおいたぼくらは、ただハムサンドをかじりながら騒動をながめるだけだったけれども、それが楽しくてしかたなかった。

4年後はどうするんだって？ もう決めてるよ。濟州島のスタジアムで、デンマーク対パラグアイの試合を見るんだから。(A)